

特別管理産業廃棄物処理計画作成(変更)報告書

令和5年6月20日

(宛先)
埼玉県 環境管理事務所長 殿



提出者
住所 埼玉県入間郡三芳町竹間沢283-1
氏名 株式会社T&K TOKA
代表取締役社長 増田 至克
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 049-258-1611

令和5年度の特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画作成(変更)したので、埼玉県生活環境保全条例第20条第2項前段(後段)の規定により、次のとおり報告します。

| | |
|--------------------------|--------------------------------|
| 事業場の名称 | 株式会社T&K TOKA 埼玉事業所 |
| 事業場の所在地 | 埼玉県入間郡三芳町竹間沢283-1 |
| 計画期間 | 令和5年4月1日～令和6年3月31日 |
| 当該事業場において現に行っている事業に関する事項 | |
| ①事業の種類 | 化学工業 |
| ②事業の規模 | 売上高:約346億円(令和4年4月1日～令和5年3月31日) |
| ③従業員数 | 484名(令和5年4月1日現在) |
| ④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程 | 別紙1のとおり |

(第2面)

| 特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 | | | |
|---------------------------|--|---|---|
| (管理体制図) 別紙2のとおり | | | |
| 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 | | | |
| ①現状 | 【前年度（平成 年度）実績】別紙3のとおり | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | | |
| | 排 出 量 | t | t |
| | (これまでに実施した取組) 自社蒸留設備による洗浄溶剤を蒸留、再利用し、排出削減を実施している。 | | |
| ②計画 | 【目標】別紙3のとおり | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | | |
| | 排 出 量 | t | t |
| | (今後実施する予定の取組) 今後も自社蒸留設備による洗浄溶剤の蒸留・再利用を継続する。 | | |
| 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項 | | | |
| ①現状 | (分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引火性廃油（主に洗浄溶剤）について、性状・様態により分別し、処理業者を変更することで、処理時の環境負荷低減などを図っている。 | | |
| ②計画 | (今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状焼却処分している引火性廃油（溶剤）を分別することで、蒸留業者（再製品可される）への排出量を増加する計画である。 | | |

(第3面)

| 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項 | | | |
|--------------------------|---|---|---|
| ①現状 | 【前年度（平成 年度）実績】別紙3のとおり | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量 | t | t |
| | （これまでに実施した取組） 産業廃棄物の再生利用については特に実施していないが、溶剤を自社の蒸留装置で蒸留し、再生利用するなど廃棄物の発生抑制のための取組みは実施している。 | | |
| ②計画 | 【目標】別紙3のとおり | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量 | t | t |
| | （今後実施する予定の取組） 現状では実施していく予定はない。 | | |
| 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項 | | | |
| ①現状 | 【前年度（平成 年度）実績】別紙3のとおり | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量 | t | t |
| | 自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量 | t | t |
| | （これまでに実施した取組） 自社内に特別管理産業廃棄物の処理施設がなく、中間処理は行っていない。 | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量 | t | t |
| | 自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量 | t | t |
| | （今後実施する予定の取組） 前述の通り自社で処理施設を有していない為、中間処理を行う計画はない。 | | |

(第4面)

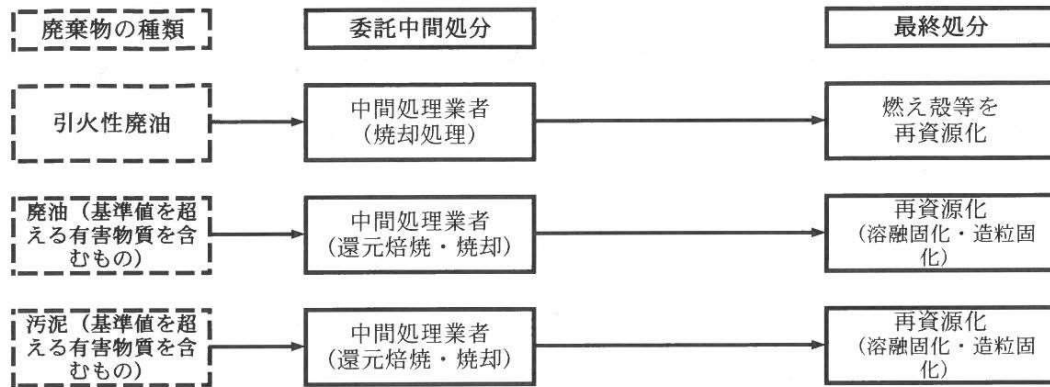
| 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項 | | | |
|--------------------------|---|-------|---|
| ①現状 | 【前年度（平成 年度）実績】別紙3のとおり | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量 | t | t |
| | (これまでに実施した取組) 自ら産業廃棄物を埋立処分又は海洋投入処分は行っていない。 | | |
| ②計画 | 【目標】別紙3のとおり | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | | |
| | 自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量 | t | t |
| | (今後実施する予定の取組) 現状実施しておらず、今後も実施する予定はない。 | | |
| 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項 | | | |
| ①現状 | 【前年度（平成 年度）実績】別紙3のとおり | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 引火性廃油 | |
| | 全処理委託量 | t | t |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | t | t |
| | 再生利用業者への処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | t | t |
| | (これまでに実施した取組) 引火性廃油、汚泥の処理について認定業者及び熱回収を行っている業者へ委託処理を行い、最終処理工程で再資源化されている。 委託業者については、契約前に業者を視察し、またその後は定期的に視察をするなど適正に処理されているか確認を行っている。 また、PCB、廃石綿等が発生した場合には、適正処理を行っている。 | | |

| | | | |
|--------|--|-------|---|
| ②計画 | 【目標】別紙3のとおり | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 引火性廃油 | |
| | 全処理委託量 | t | t |
| | 優良認定処理業者への 処理委託量 | t | t |
| | 再生利用業者への 処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者への 処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 | t | t |
| | <p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>今後も現在の取り組みを実施し、焼却処理する場合においても、積極的に熱回収を行うような処理を行うよう努め、排出を行っていく予定である。</p> | | |
| ※事務処理欄 | | | |

備考

- 1 「変更の概要」の欄は、変更の報告の場合に記載することとし、その記載に当たっては、変更した部分について変更前及び変更後の内容の概要を対照させること。
- 2 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記載すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記載すること。
 - (2) ②欄には、製造業における製造品出荷額（前年度実績）、建設業における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関における病床数（前年度末時点）等、業種に応じて事業規模が分かるような前年度の実績を記載すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記載すること。
- 3 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量及び、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記載すること。
- 4 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記載するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の1第2号に該当する者）への処理委託量、再生利用業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の4の2第1項の認定を受けた者）への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記載すること。
- 5 それぞれの欄に記載すべき事項の全てを記載することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記載し、当該欄に記載すべき内容を記載した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記載し、当該欄に記載すべき内容を記載した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記載すべき事項がないときは、「―」を記載すること。
- 6 ※欄印の欄には、記載しないこと。
- 7 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

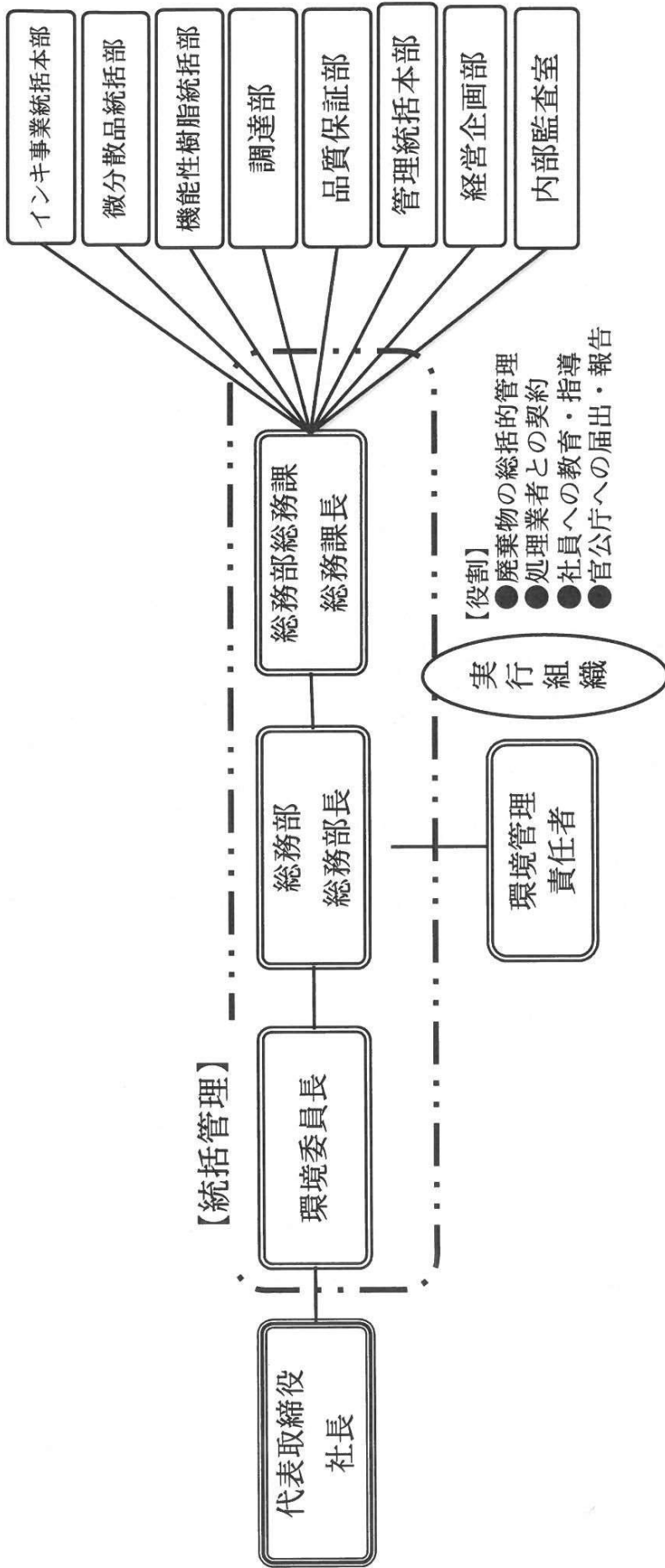
●特別管理産業廃棄物処理フロー



(株)T&K TOKA 埼玉事業所
産業廃棄物管理組織図

別紙2

【排出部署】



【令和4年度の特別管理産業廃棄物排出実績及び次年度の目標】

●令和4年度特別管理産業廃棄物排出実績値

| 廃棄物等の種類 | ① 産業廃棄物排出量 | ② 自己直接再生利用量 | ③ 自己中間処理量 | ④ 自己熱回収量 | ⑤ 自己中間処理減量 | ⑥ 自己埋立処分又は海洋投入量 | ⑦ 全処理委託量 | ⑧ 優良認定業者処理委託量 | ⑨ 再生利用業者処理委託量 | ⑩ 熱回収認定業者処理委託量 | ⑪ 認定外熱回収業者処理委託量 |
|---------|----------------------|-------------|-----------|----------|------------|-----------------|----------|---------------|---------------|----------------|-----------------|
| 特別管理 | 引火性廃油 | 16.975 | | | | | 16.975 | 7.434 | | 9.541 | |
| | 廃油（基準値を超える有害物質を含むもの） | 0.001 | | | | | 0.001 | 0.001 | | | |
| | 汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの） | 11.890 | | | | | 11.890 | 11.890 | | | |
| 廃棄物等合計 | 28.866 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 28.866 | 19.325 | 0.000 | 9.541 | 0.000 | |

●令和5年度特別管理産業廃棄物排出目標値

| 廃棄物等の種類 | ① 産業廃棄物排出量 | ② 自己直接再生利用量 | ③ 自己中間処理量 | ④ 自己熱回収量 | ⑤ 自己中間処理減量 | ⑥ 自己埋立処分又は海洋投入量 | ⑦ 全処理委託量 | ⑧ 優良認定業者処理委託量 | ⑨ 再生利用業者処理委託量 | ⑩ 熱回収認定業者処理委託量 | ⑪ 認定外熱回収業者処理委託量 |
|---------|----------------------|-------------|-----------|----------|------------|-----------------|----------|---------------|---------------|----------------|-----------------|
| 特別管理 | 引火性廃油 | 16.805 | | | | | 16.805 | 7.360 | | 9.446 | |
| | 廃油（基準値を超える有害物質を含むもの） | 0.001 | | | | | 0.001 | 0.001 | | | |
| | 汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの） | 11.771 | | | | | 11.771 | 11.771 | | | |
| 廃棄物等合計 | 28.577 | | | | | 28.577 | 19.132 | | | | |